

気候講演会 質問事項

その他（指定なし）

	質問事項	回答
	<p>本日はありがとうございました。 基礎本を読んで不思議に思いました。温室効果ガスとして、一番寄与する割合が高いのがH<sub>2</sub>O、続いてCO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>等である。 しかし、H<sub>2</sub>Oの発生量は人間には制御できないため、人間に制御可能なCO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>等の削減が温暖化対策であると理解しました。 そして、CO<sub>2</sub>を発生させない、H<sub>2</sub>を原料エネルギーとする仕組みを各国で開発を進めています。 それが可能となったとすると、現在のCO<sub>2</sub>発生を大幅に上回るH<sub>2</sub>Oが発生し続けると思うのですが、影響はないのですか？</p>	<p>地球全体で平均した降水量は年間約1000mm、従って、蒸発量はこれと同量で釣り合っています。二酸化炭素が倍増して、地球が温暖化して平衡状態に達したとき約10%降水量が増えると予測されています。水蒸気の大気中の寿命は約1週間程度と短く、また、容易に水蒸気を凝結させて、液体の水として地表に留めることが出来ますが、水素を燃料として生じた水蒸気が年間降水換算で100mm程度以上気体として大気中に排出されるようになれば、二酸化炭素倍増と同じ程度の影響が出ると予想されます。【回答者:野田 彰】</p>
	<p>説明してもらってもまだよくわかりません。温暖化がなぜ起こるかを教えてください。車の排気ガスで二酸化炭素が出て、温室効果ガスがあって、近年石油などの化石燃料を燃やすため大気中のCO<sub>2</sub>濃度が増え、宇宙に熱を逃がしづらくなるまであるのですか。そのため宇宙に熱を逃がしづらくなったんですか。あたたかくなったので地球の平均気温が上昇したとなるのですか。さっき(講演中に)説明にあったのですがもっとわかり易く教えてください。</p>	<p>月刊誌Newtonの地球温暖化特集などでも分かり易く解説されています。 (2008/2/15発行 ニュートン別冊「地球温暖化」特集号) 【回答者:野田 彰】  「株式会社ニュートンプレス」ホームページURL <a href="http://www.newtonsanseido.com/index.php">http://www.newtonsanseido.com/index.php</a></p>
	<p>24時間テレビ放送配信は必要か。時差のない日本国内で無駄なエネルギーを消費しているのではないか。</p>	<p>同感です。オイルショックの時にとった行動はすぐにも出来るはずで す。特に、マスコミが取る行動は影響が大きいので、自ら先頭に立って省エネの範を示して欲しいものです。【回答者:野田 彰】</p>